

ごあいさつ

本日は、アートロード《東海ステーションギャラリー展》にご来場頂き、誠にありがとうございました。1988年に発足致しましたアートロード展は今年で第26回目を迎えることができました。

発足当初は美術連盟の有志45名、協賛店14店舗でスタート致しましたが、1992年の第4回展からは、書及び写真部門が、2010年からは華道及び工芸部門の有志が参加し現在は会員94名、協賛店33店舗で活動致しております。

26年間、一度も中止することなく継続出来ました事は、参加協賛店さんのご協力と会員全員の努力、さらには東海村教育委員会、文化協会等のご理解とご協力の賜物と感じ、この機会に改めまして感謝申し上げる次第です。

ここで《アートロード展》とはどういうものか簡単に説明させていただきます。

本来、美術作品は美術館とかギャラリー等つまり展示会場に出向いて見に行くものですが我々はそういう方法にとらわれず、私たちが住んでいます東海村そのものの街並みを展示館に見立て、村民の皆様が日頃利用している商店街の理容所、喫茶店、レストラン、住宅展示場、金融機関、食事処あるいは役場、原子力施設等のロビーや空いた壁面に一定期間会員が制作しました絵画、書、写真、彫刻、華道、工芸作品を展示し、買い物等でたまたま訪れました折にそれらの作品に出合い『ホッ』とするひとときを味わって頂ければ幸いという発想にあります。つまり『暮らしの中の美術館』をテーマに芸術文化の街“Art Road”づくりを目指して年に一度の展示活動をしております。

この《東海ステーションギャラリー展》はアートロード展の発信基地として2月22日まで、各協賛店での作品展示は4月末日まで展示しておりますのでパンフレットを参考に、合わせてご覧頂ければと思います。

アートロード展は東海村アートロード実行委員会に会員または協賛店として登録していただければどなたでも自由に参加できます。随時募集をしておりますのでご希望の方は事務局あるいはお近くの会員に是非連絡いただきますようお願いしております。

2014年 第26回 アートロード展にて

東海村アートロード実行委員会 委員長 高橋 忠治

事務局長 塙 千恵子